

「社会（地域・福祉・企業の連携システム）が支える、学校教育終了後から生涯にわたる継続的な学びの実践研究事業」
コミュニケーション経験を基盤とする生活・就労支援プログラムの構築

大学でみんなと勉強したかった！

成果報告会

文部科学省が「障がい者の生涯学習」をテーマに掲げ、今年度から始まった実践研究事業に、全国一八の採択団体のひとつとして、私たちも取り組んできました。

団体発足から二年目ですが、講座型プログラムの実践、地域の既存講座との連携模索、多様な専門家と当事者を交えた会議を重ね、試行錯誤を繰り返す中から、新しい学びの場のアイデアが生まれてきました。障がいの有無に関わらず、むしろみんなが交わるからこそ可能な、次なる学びの場になる可能性を感じています。

誰しも、知的障がいのある人だって、いくつになっても学びたいことがたくさんあります。

もしかすると、成人教育として最先端かもしれないこの学びのデザインについて、今考えていること、これまで取り組んできたこと、そして、これからやりたいことをご報告します。

まだまだ不明瞭な部分が多いので、予行実践も予定しています。ぜひ来て見て聞いて、ご意見をお寄せいただけませんか？

《プログラム》

講演

「学校卒業後における障害者の学びの推進に関する取組状況と課題」

高見 暁子氏 / 文部科学省 総合教育政策局 男女共同参画共生社会学習・安全課障害者学習支援推進室長

発表

「10の講座実践と、ワーキンググループから見てきた新たな学び続ける場の可能性」

大森 梓 / NPO 法人障がい児・者の学びを保障する会 代表理事

予行実践

「当事者や多様な専門家を交えたディスカッション」

テーマ：学び続けること（仮）

障がい当事者、当事業ワーキンググループメンバー（予定）

日時：2019年2月26日（火）14:00～16:30（開場13:30）

場所：ココネリ3F「Coconeriホール」東京都練馬区練馬1-17-1

※できるだけ事前にお申し込みください。詳細は裏面。

参加費

無料

この事業の背景となっているのは・・・

知的障がいのある人は、その特性から発達がゆっくりであるにも関わらず、18才までに進路を迫られ、就労に挑戦します。さらに高等部卒業後は、仲間とともに生きる術を磨いたり、学ぶ機会が極端に限定されます。

《会場アクセス》 Coconeri ホール（東京都練馬区練馬 1-17-1 ココネリ 3F）
西武池袋線・都営大江戸線 練馬駅北口から徒歩1分
駐車場が建物地下にあります。有料です ※割引はありません

《お問い合わせ先》 NPO 法人障がい児・者の学びを保障する会
メール hello@npo-manabinokai.com
電話 080-3529-6343（大森）

「NPO法人障がい児・者の学びを保障する会」とは？

知的障がい児の親たちが練馬区内で始めた勉強会（「ままのがっこ」）と、特別支援学校の教員OG/OBたちが一緒につくったNPO法人です。学びを軸とした生活訓練事業「More Time ねりま」、地域の居場所「i-LDK」の来春に向けた立ち上げ準備をする傍ら、「練馬区地域おこしプロジェクト」（練馬区）や、「障害者の多様な学習活動を総合的に支援するための実践研究」（文部科学省）を展開中。

<https://npo-manabinokai.com/>

《お申し込み方法》

以下のいずれかの方法でお申し込みください。飛び入り参加も歓迎しますが、準備の関係上、予めご登録いただけると嬉しいです。キャンセル連絡は不要です。迷ったら、まずはお申し込みを！

ウェブサイトで登録する

下記のウェブサイトアクセスし、必要事項をご記入ください。

URL <https://npo-manabinokai.com/>



FAX、またはメールを送る

下のフォームをご記入の上、ファックスいただくか、同じ内容を以下メールアドレスにお送りください。なお、それぞれ受信した旨の返信はできません。ご了承ください。

FAX 03-3921-9774 メール hello@npo-manabinokai.com

お名前	ご所属

*同行される方がいる場合も、同じくお名前、ご所属をお知らせください。別の紙を使っていただいても結構です。